

令和2年度第1回草津市地域福祉推進市民委員会における主な御意見に対する対応等について

項目	主な御意見	対応・方針等
【人材育成や団体間連携について】	<p>高齢者や子どもを含めすべての住民が地域活動に参加し、良好な関係を築きやすくするための「機会」や「場」を提供していくことが課題ではないか。また、地域福祉について考える上で、住民同士の仲間づくりやリーダーの育成等を行うとともに、各団体間での連携についても密にしながら協力していかなければならない。</p>	<p>リーダー・人材育成、住民活動の機会や場の提供、また住民同士の仲間づくりや交流の場づくりの視点は重要であると認識しており、計画(基本目標1・基本方向2、基本目標1・基本方向3・基本施策3、および、重点プログラム1・2等)の中に反映する予定です。 また、団体間の連携強化といった視点につきましては、計画(基本目標2・基本方向1・基本施策1等)の中に反映する予定です。</p>
【包括的な支援体制について】	<p>福祉といっても、人の数だけ多様性があるので「断らない相談支援」は大切だと思う。地域包括ケアシステム、相談支援などは福祉活動における一番の課題であり、何とかしなければと思い悩んでいるところ。地域包括ケアシステムの構築については、引き続き非常に重要な課題であり、多職種連携のさらなる深化が必要である。</p>	<p>断らない相談支援や地域包括ケアシステムのさらなる推進は、包括的な支援体制の構築に向けて欠かせないものと考えており、この点、計画(基本目標2・基本方向1・基本施策2や基本目標3・基本方向1基本施策1、および、重点プログラム3等)の中に反映する予定です。</p>
【新型コロナウイルス感染症等について】	<p>社会情勢が次々と変化していく中で、今何が必要なのか見極めながら新しい課題についても柔軟に対応できる力も必要と考える。 特に、地震等災害や新型コロナウイルス感染症の流行等、経験した事のない様な災害が起こった時において、その支援のあり方について今後の課題として考えねばならない。</p>	<p>災害時等の支援のあり方につきましては、計画(基本目標3・基本方向2・基本施策2、および、重点プログラム4等)の中に、災害と関連して感染症の視点も加味する方向で検討しております。</p>
【見守りについて】	<p>これから高齢者が増えていくなか、元気な老人であれば介護はまだ必要ではないが、日常生活が困難になった高齢者を見守ってあげなければならなくなってくると思う。</p>	<p>日常生活が困難な高齢者等に対する見守りの視点は重要であり、計画(基本目標3・基本方向2・基本施策1等)の中に反映する予定です。</p>
【高齢化について】	<p>地域福祉計画の策定にあたっては、市の高齢化の現状を知る必要があるのではないかと。</p>	<p>高齢化等の現状につきましては、今後、統計データを整理して計画(第2章 現状と課題・1. 市の現状)の中に掲載する予定です。</p>
【主要な課題について】	<p>第3期計画の5つの重点プログラムからそれぞれ課題が出てきて、これに対応する5つの課題が挙げられているが、第4期計画ではそれらを主要な課題として3つに集約するということがか。</p>	<p>現在の骨子案では、第4期計画に向けた主な課題(第2章 現状と課題・5. 第4期計画に向けた主要課題)として4点を挙げさせていただきました。 (参考) 第3期計画 重点プログラム1課題 → 主要課題1 第3期計画 重点プログラム2課題 → 主要課題2 第3期計画 重点プログラム3課題及び5課題 → 主要課題3 第3期計画 重点プログラム4課題 → 主要課題4</p>
【PDCAについて】	<p>計画の推進に向けては、PDCAチェックリストで評価できる体制を常に意識しなければならない。計画内容が机上の事に終わらないよう、それぞれが意識を持って実行できることを願う。</p>	<p>計画のPDCA等評価に関しましては、今後考え方を整理して計画(第5章・2. 計画の評価)の中に掲載する予定です。</p>